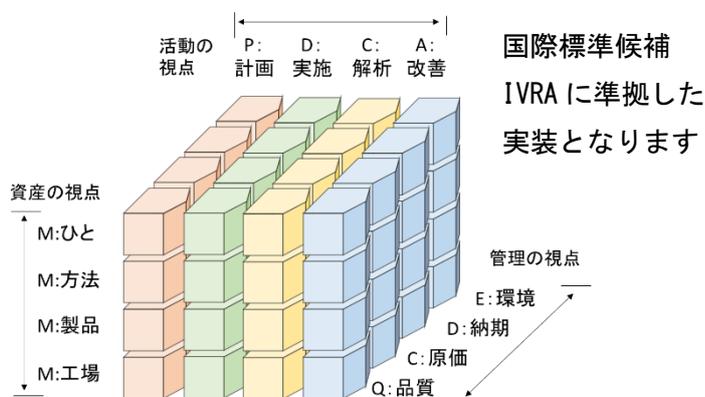


IVIプラットフォーム&コンポーネント募集案内

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ(IVI)では、つながるものづくりのためのしくみとして、アプリ、デバイス、インフラ、あるいはツールとして機能提供するコンポーネントと、それらを相互に連携させることで、サービスとして価値を提供するプラットフォームを募集いたします。それぞれの企業がもつIT資産を、企業単体としてではなく、IVIが提供するエコシステムの上でご提供いただくことで、製造業のサービス化の流れを加速する新しいビジネスモデルを生み出すことが可能となります。国際標準をめざすIVRAとともに、世界へ向けてグローバル展開を目指すプラットフォーム、そして国内にいてオンリーワン技術を有するコンポーネント企業をIVIは応援します。

IVIプラットフォームの特徴

- 1 ものづくりを実践する企業にとっての価値を最大化することを第一の目的とします。
- 2 構成するコンポーネントについて、オープンな仕様にもとづくエコシステムとします。
- 3 企業データの所有者は企業自身とし、ボトムアップなくみづくりを可能とします。

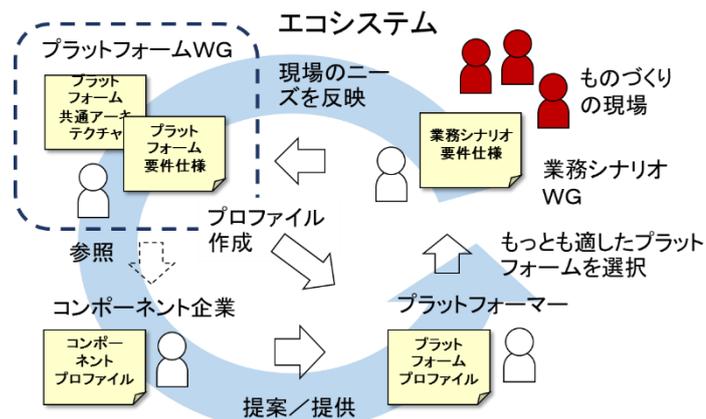


IVIプラットフォームのメリット

- ① 企業または企業コンソーシアムのプラットフォーム名を、IVIプラットフォームとして登録できます。
- ② IVIプラットフォームのロゴを、自社のウェブサイト、パンフレット、説明資料などに掲載できます。
- ③ IVIのプラットフォームのWebサイトにて、申請したプラットフォームの機能と実績を掲載できます。
- ④ IVIコンポーネントとのマッチングにより、現状のプラットフォームに新たな機能が加わります。
- ⑤ 業務シナリオWGからの要望に対応して実証実験に参加し、その成果をIVI事例として公開できます。

IVIコンポーネント企業のメリット

- ① 企業がもつアプリ、デバイス、インフラ、ツールを、IVIコンポーネントとして登録できます。
- ② IVIコンポーネントのロゴを、自社のウェブサイト、パンフレット、説明資料などに掲載できます。
- ③ IVIのプラットフォームのWebサイトにて、申請したコンポーネントの機能と実績を掲載できます。
- ④ IVIプラットフォームとのマッチングにより、新たなビジネス展開チャネルが得られます。



なぜIVIプラットフォームなのか?

IVIでは、ものづくりの現場ニーズをそのまま反映した業務シナリオを、実在するシステムとして実装するにあたり、それに適したプラットフォームを活用することで、実証実験および実運用システムを構築するための時間やコストを大幅に削減することを可能とします。プラットフォームおよびコンポーネントは、相互運用性のために必要なプロフィールを公開することで、オープン化の時代の要請にそったアーキテクチャーを備えることができます。

対象とする業務シナリオのセグメント

セグメント名	説明
品質保証と設計	品質のトレーサビリティ、設計と製造のデータ連携、データによる品質保証など、製品の設計から製造にいたるエンジニアリングチェーンに関するデータの利活用。
設備と保全	設備総合効率の向上、IoTによる予知保全、稼働データ利活用など、設備を常に利用可能な状態とし、利用効率や生産性を高めるための設備の保全に関する活動。
知能化と見える化	生産ライン知能化、匠の技のデジタル化、現場の見える化・見せる化など、機械と人とが協調した進化可能なものづくりを志向する取り組み。
データと全体最適	ダイナミックな計画連携、工程管理と納期遵守、中小製造業のIoT利活用など、工場全体、サプライチェーン全体として、個々の活動を連携させ最適化する活動。
新たな結合	製造業のサービス化（遠隔サービス）、製造サービスと資産のシェアリング、デジタルツインによる企業連携など、新たなサービスやビジネスモデルが対象。

（注）IVIプラットフォームは、上記のセグメントから最大3つ選択可能です。

必要要件

- ◆IVIの正会員またはサポート会員であること（応募時は非会員であってもかまいません）。
- ◆IVIプラットフォームまたはコンポーネントのプロファイルを期限までに提出すること。
- ◆IVI会費とは別に定めるIVIプラットフォーム協賛費を支払うこと。
- ◆その他、IVIの「プラットフォームに関する規則」および関連する規則を遵守すること。

協賛費（企業規模、申請形態により以下の協賛費が必要となります。）

協賛費	大規模企業（注2）	小規模企業（注2）
単独型プラットフォーム（注1）	300万円/年	30万円/年
連合型プラットフォーム（注1）	100万円/年	10万円/年
単独型コンポーネント（注3）	20万円/年	5万円/年

（注1）単独型プラットフォームは、1つのプラットフォームが管理と運営を行うプラットフォームです。

連合型プラットフォームは、複数のプラットフォームが管理と運営を行うプラットフォームです。

（注2）大規模企業は、資本金10億円以上、または従業員1,000人以上のいずれかを満たす企業および団体です。小規模企業は、上記以外の企業および団体です。

（注3）コンポーネントの提供は、アプリ、デバイス、インフラ、ツールとしてビジネス展開している商品、サービス名の最小単位となります。プラットフォームとして申請する場合は、別途定めた数のコンポーネントを無償で登録することができます。

よくある質問

- ◆IVIの実証実験に参加しない場合は登録できないのですか？—— マッチングによって、IVIの実証実験にて活用していただけるようにはかかりますが、実証実験で採用されない場合でも登録は可能です。
- ◆IVI実証実験に参加する場合の制約はありますか？—— I V I 実証実験にてプラットフォームまたはコンポーネントをご提供いただく場合は、原則として実験期間の利用料は無償でご提供いただいております。
- ◆プラットフォームは自社の適用事例を登録できますか？—— I V I 実証実験としてあらたに関係するプロジェクトを登録することができますが、別途定めるI V I 業務シナリオWGの要件を満たす必要があります。
- ◆プラットフォームの申請は毎年するのですか？—— 継続的に翌年以降も申請することで、プラットフォームの導入実績や新たなニーズの獲得をし、プラットフォーム自身が進化していくことが可能となります。
- ◆国際標準など海外との連携はあるのですか？—— I V I プラットフォームは、プラットフォーム共通アーキテクチャ、プラットフォームリファレンスモデルなどをベースとし、国際標準とも連携していく予定です。

応募方法

応募用紙に必要事項を記入の上で、以下の事務局まで郵送、FAXまたはメール添付でお送りください。

【申し込み先、問合せ先】

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 モノづくり日本会議内
 一般社団法人インダストリアルバリューチェーンイニシアティブ 事務局 担当：鎌田正雄
 FAX：03-5644-7209 電子メール：office@iv-i.org